

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、
「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑費率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の
諸雑費率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(160000-0)

						:		
					1			
					1			
					1			
					1			
					1			
					1			8 ,A5000//1
					1			
					1			7 ,A3000//1
					1			
					1			

(160000-0)

						:		
					1			
					1			
					1			
					1			

「週休2日適用工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和8年4月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前) 算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前) 算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

Np: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあっても、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

◎留意事項

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。

労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者(下水道)に加え、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)とする。

ただし、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)は、週休2日補正後の労務単価を見積徴取しているため、週休2日補正係数は乗じないものとする。

また、水道X線検査工の一部労務費(技師A及び技師B)は補正対象外とする。

予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和8年4月)実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

労務費	単価根拠	補正の有無	補正の方法
51 職種及び電気通信技術者、 電気通信技術員、機械設備据付工、 技術者(下水道)	県単価	有	補正係数を乗じる
ステンレス溶接工、 X線検査 技術員、X線検査 補助	見積	有	見積額に含む
技師A、技師B	県単価	無	—

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

週休2日補正有
月単位

令和8年度(春) 基準適用
R 8 年度[春] 単価適用
適用地区： 上越②

費 目	計 算 根 拠 式
共通仮設費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad) \times \quad \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} + \text{事業損失防止施設費} + \text{処分費} (\text{準備費}) - \text{処分費控除額} \\ &\quad + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - (\quad / 2) + \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad + \quad + \quad - \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad - \quad \\ \text{処分費控除額} &= \quad \\ \text{処分費等} (\text{直工} + \text{準備}) \div \text{対象額} &= \text{構成比} < > 3\% \\ &= \quad \% < > 3\% \end{aligned}$
現場環境改善費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% + \quad \%) \times \quad \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) - \text{処分費等} (\text{直工}) + \text{支給品費} \\ &\quad - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) + \text{無償貸付機械等評価} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - (\quad / 2) - \quad + \quad \\ &\quad - (\quad / 2) + \quad + \quad - \quad \end{aligned}$
現場管理費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象純工事費} \times (\text{標準率} \times \text{地域補正} + \text{冬期補正率}) \times \text{係数} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad + \quad \%) \times \quad \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象純工事費} &= \text{純工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - (\quad / 2) + \quad - (\quad / 2) \\ &\quad + \quad - \quad + \quad - \quad \end{aligned}$
一般管理費 (率計算額) 契約保証費	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象工事原価} \times (\text{標準率} \times \text{前払補正率}) \times \text{係数} - \text{端数調整額} \\ &= \quad \times (\quad \% \times \quad) \times \quad - \quad \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{契約保証費} &= \text{対象工事原価} \times \text{契約保証補正} \\ &= \quad \times \quad \% \end{aligned}$ $\begin{aligned} \text{対象工事原価} &= \text{工事原価} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \quad - \quad + \quad - \quad \end{aligned}$

週休2日補正係数 地域補正係数	
施工地域・工事場所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	○
市街地	
山間僻地及び離島	

週休2日補正係数 地域補正係数	
施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	○
市街地	
山間僻地及び離島	

前払補正率				
前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下
補正係数				

※35%超40%以下 (補正なし)の場合 ○

契約保証補正率	
保証の方法	補正值(%)
金銭的保証	○
役務的保証	

(160000-0)

(160000-0)

1 AZ1002-0000-01		1				HPPE φ 100 L=11.7
	100mm		1			F640100
()	LJTVJ5TD-81H17K		1			H010030
FRP	() B-800		1			H050005
	φ 100 × 5000	.	10.2			L410100
EF 45 °	φ 100		4			L470100
(HPPE-VP)	φ 100		2			L763100
(: PE :SGP)	φ 100 × 200A		2			D230100
			1			
			1			

(160000-0)

21 AZ1004-0000-01		1				HPPE φ 100 L=11.7	
	φ 100		10.2			1	, SS0350//1
	φ 100 (EF)		8			2	, SS0360//1
()	φ 100		4			3	, SS0365//1
	φ 100		4			4	, SS0457//1
- CIP.VP.SGP	100mm		1			5	, SX0610//2
	K A () 100		2			6	, SY0136//1
	7.5K 100		2			7	, SY0136//2
()	φ 13 25		1			8	, SS0513//2
BOX ()			1			9	, SX0615//1
	(		8.7			10	, SX0619//1 ()
()	φ 100 × 5 4		11.7			11	, SY1220//1 ()
()			11.7			12	, SS1230//1

(160000-0)

2 2 AZ1004-0000-01		1				HPPE φ 100 L=11.7
	φ 100		4			13 , SYA150//1
	φ 100		2			14 , SS0455//1
	φ 100		5.3			15 , SS0321//1
()	φ 100		4			16 , SS0441//2
	φ 100		5.2			17 , SS0231//2
	A	t	0.02			18 , SX0206//2
	A		0.06			19 , SX0203//2
	5.0		1			F1000//1
			1			
			1			

$$(160000 - 0)$$

3 AZ1003-0000-01		1				HPPE φ 100 L=11.7	
	:15cm		30			20	,SP1D210//1
	BH 0.28m3 2	m3	37			21	,SS1000//1
	0 10 BH 0.28m3 2	m2	18			22	,SS1040//1
()	0.28m3 1 max 20cm	m3	9			23	,SX1300//2 ()
(40(D))	0.28m3 0.5km 4t 1 max 20cm	m3	24			24	,SX1300//1 ()
	0.28m3 4t L=4.5km R	m3	0.9			25	,SXG0020//4 ()
	0.28m3 4t L=10km	m3	24			26	,SXG0030//2 ()
	0.28m3 4t L=10km (D)	m3	13			27	,SXG0030//1 ()
	12cm 1 (1.8) M-40	m2	18			28	,SY1050//1
	12cm 1 (1.8) ARC 40 RC	m2	18			29	,SY1050//2
()	(20) 5cm	m2 1	18			30	,SY1070//3
		m3	0.3			31	,SYS0361//2

(160000-0)

32			1			HPPE φ 100 L=11.7	
AZ1003-0000-01							
()			L=10km	0.28m3 4t	G	m3	0.3
						m3	0.08
						34 ,SZ1155//1	

(160000-0)

1						
4 AZ3001-0000-01						
	:15cm		25			20 ,SP1D210//1
	Ø 10 BH 0.28m3 2	m2	100			22 ,SS1040//1
	6mm 11mm M-40	m2	100			35 ,SPZB010//4
() PK-3	3.0m 50mm (20FH)	m2	100			36 ,SPZB130//5
	0.28m3 4t L=4.5km R	m3	5			25 ,SXG0020//4 ()
()	15		15			37 ,SYS0041//1
			1			
			1			

(160000-0)

5 AZ2001-0000-011						
	50m/m		1			38 ,SX0900//1
	50m/m		1			39 ,SX0901//1
()	2.0 BH0.28 2 + BH0.28 2		5.5			40 ,SY0020//2
()	3.0 BH0.28 2 + BH0.28 2		6.7			41 ,SY0020//1
	2.0 (1) + / 1.1m 1.5m		5.5			42 ,SY0060//3
	3.5 (2) + / 0.9m		2.7			43 ,SY0060//2
	3.5 (2) + / 1.1m 1.5m		4			44 ,SY0060//1
	2.9t 1		1			45 ,SX0800//4 7
			1			
			1			

(160000-0)

1						
6						
AZ2002-0000-01						
	8 ()		13.5			R4400 (RR0804)
			1			
			1			

(160000-0)

7
A3000-0000-01

1

(1)	φ 150		11.7			69 ,SS0705//1
			1			
			1			

(160000-0)

1						
8 A5000-0000-01						
	→ →		2.9			70 ,SY9800//1
	12m 10km	t	5.8			71 ,SY9700//1
			1			
			1			